

1. 意見

昨年春先の融雪での異常出水、10月に北海道を襲った爆弾低気圧の時、私の家が名寄川のすぐ近くでしたので、幾度となく川の様子を見ていました。融雪出水の時は水量も多かったが流木が大量に流れて立木に当たり木を次々となぎ倒していく様は恐ろしい光景でした。10月の大雨の時は高水敷まで水があがり、樋門のゲートが下ろされはしないかと心配でした。ゲートが下ろされれば水は行き場が無く家をはじめ、すべてが水に浸かってしまふからです。数10cmの水位の変化で被害が出る出ない事を今回痛感しました。マスコミの報道では温暖化による異常気象で爆弾低気圧の発生が台風より多くなるとのこと、ことさら心配です。台風は速度があり短期間で過ぎ去りますが、低気圧は長く居座るため台風以上に怖いモノです。今後このような事が年何回か起きたり、昨年以上大きな爆弾低気圧が発生した場合を考えると一刻の有余はありません早急にしつかりとした治水事業（サンルダム建設事業）を行い、私達の生命、財産を守っていただきたい事を切にお願いし要望します。